

慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resources

Title	序文
Sub Title	
Author	伊東, 乾(Itō, Susumu)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1971
Jtitle	法學研究 : 法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.44, No.3 (1971. 3) ,p.9- 9
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	津田・宮崎・伊藤教授退職記念論文集
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19710315--009

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

序 文

学年末を迎えるごとに私どもの胸は痛む。制度と時日とが、仮借なく、恩師・古老を専任外に拉致するからである。本年も、停年で、津田利治・宮崎澄夫・伊藤政寛三先生の御退職を、お送りすることになった。私どもの惜別の念いは殆ど耐え難いものがある。

けれども、先生方御自身にとつては、実は、停年は、寧ろ、そのお慶びでなければなるまい。世に完職というものは、貴くもまた、重いことであるからである。にも拘らず、健康が、屢々これを妨げる。自他の感情が進退を難渋にすることも決して珍しいことではない。互の潰し合いのみを事とする戦後の世態では、職務の遂行は一そう困難になった。さなきだに、負荷至難、畏れて敬すべき責任が、教職にはある。思えば、一途四十余年、そうしていま成る御完職は、ただただ大きなことと、しなければならぬ。

惜別と、感謝・感動と、祝意と——。すべての思いを籠めて、この記念論文集が編まれた。匆忙の環境から稿を寄せることのできなかつた者、また同じ理由から全力をこれに注ぐことのできなかつた者のある点は、先生方の寛大な宥恕を乞わなければならぬ。総じて、それでも、関係者の尋常を超えた努力によつて、力作の多い大冊が成就した。心からその御健康を願いつつ、津田・宮崎・伊藤三先生に、私どもは、謹んで、この記念論文集を捧げる。

昭和四六年三月

伊 東 乾